

1. いまの小樽を見て… どうする?!!

目次

お知らせ

1	昭和40年代小樽はこんな街だった	1
2	小樽の現状	
1)	小樽は歴史的建造物の宝庫	3
2)	小樽運河の歴史	3
3)	はざま俊哉市長と小樽のあゆみ	4
4)	お祭りの街小樽	4
5)	小樽の年間イベント	5
6)	小樽ふれあい観光大使44名	7
7)	小樽港利用のクルーズ客船	8
8)	小樽駅前の現状は	9
9)	小樽市の公園を紹介	10
10)	小樽市赤岩ロックゲレンデ	11
11)	小樽市と近郊都市	12
	及び「住みたい都市」との比較	
3	小樽の現状まとめ	14
4	「小樽らしさ」…とは何	15

株式会社PGN



お知らせ ⇒⇒⇒⇒

新コーナー開設！ 『これからの小樽……どうする？！！』

新コーナーは、弊社の持論で小樽の街を「こーしたい！あーしたい！」をふんだんに盛り込んだ計画案とほかの街の魅力ある情報を掲載するサイトです。当然、小樽市の計画とは違いますが、ここではより魅力ある小樽の街づくりを第一に考えた弊社持論計画案を掲載していきます。

このコーナーを読まれた方が、どうすれば小樽が「楽しい街、おもしろい街、住みよい街」になるかを考え、小樽の街づくりに関心を持っていただくと共に小樽グリーンパークにも注目していただくことを願って開設しました。

令和2年より、3年間のコロナ感染防止対策により、全国及び海外からの来樽者が激減し、小樽及び小樽グリーンパークも忘れられた存在になっています。

これからは、小樽をより活性化させて、小樽グリーンパークも復活させていきたいと思っています。

初回掲載は、

① いまの小樽を見て…どうする	② ほかの街を見て…どうする
③ これからの小樽駅前…どうする	④ これからの小樽…どうする(新たな魅力ある街小樽に)

今後は、「コンパクトシティ小樽」、「奥沢水源地の再利用計画」について掲載予定です。

お気軽にご意見、ご感想をお寄せください。

1 昭和40年代小樽はこんな街だった

古き小樽の街を語る私は、昭和33年小樽駅前の稲穂町に生まれ、現在64才のおやじである。私が、中学生(昭和49年)までの小樽の街を思い出していこう。

1 番目は、乗物と小樽駅

最初は、ボンネットバスとバス車掌(きっぷ売娘?バスガールと呼ぶのか)です。そう、昭和39年東京オリンピックの年(幼稚園生)でした。バスガールは、扉の開閉、料金徴収、次の停留所の案内と安全確認「お立ちの方はご注意ください。」と美声で軽快な仕事をしていました。バス料金、10円くらい?次は、蒸気機関車です。急行ニセコ号(函館行)は、C62の2重連で迫力ある蒸気音を発しながら走っていました。小学3、4年くらいの時かなー。初めに小樽駅に行き出発時刻を確認!次に線路沿いにある龍宮神社に直行!最後に一番眺めのいい場所を確保!C62乗りたかったなー残念!私が中学までは、小樽から余市方面行は蒸気機関車D51が走っていた。(日本で最後まで蒸気機関車が走った区間らしい)でも、小樽札幌間は電化されていたよなー。だから、小樽駅では「蒸気機関車と電気機関車の並んだ姿が見れたんだー」今思うと貴重な姿だったんだ!

2 番目は、お祭り

小樽は、とにかく祭りが多いことを思い出す。6月に入ると毎週「どこかでお祭り騒ぎ」、7月下旬まで続いていたよなー たぶん?特に水天宮、龍宮、住吉と大きな祭り(小樽三大祭)が続くと、私が通っていた色内小学校では、龍宮祭りで2日休み、住吉祭り(小樽祭り)で1日休みとなった。当然、大人も休みである。よって、お祭り中は、朝から酒が飲めるので子供より大人のほうが盛り上がっていた。私は、子供相撲大会に参加し、優勝して沢山の景品(醤油、酒等)を家に持ち帰り、お小遣いに変えていた。この相撲大会は、参加者をその場で募集していた。今と違い多数の参加者があり、大変盛り上がっていたよ。

3 番目は、遊び場=商店街&銭湯 だから小樽こどもの国は記憶にない。今もあるらしい・・・

小樽には、映画館がたくさんあった。稲穂町に富士館、コトセ映画館、電気館、花園町に東映、東宝、中劇、花園劇場の7ヶ所もあったよ!小学生の時、「かくれんぼ」で映画館(富士館)に隠れ、後で映画館の主人に見つかり、「ただで映画見たら、だめだぞ」と怒られた。料金取らないやさしい人でした。中学生になると小学生以上に商店の息子、娘が多かった。お菓子屋、本屋、銭湯、映画館、そば屋、ラーメン屋、クリーニング店、畳屋、喫茶店、貴金属店、旅館、豆腐屋、パン屋、酒屋、もち屋、金物屋、とこ屋、質屋、魚屋など思い出す(さすが中心街)。学校帰りは、寄るところが多くて(特にあまとう)いつもご馳走様でした。毎日、商店街で遊んでいたの、小樽こどもの国は覚えていない。それより、小樽駅前再開発工事が始まり、引っ越しする同級生が出てきたことを思い出した。近所には、3つの銭湯(龍宮湯、柳川湯、デンキ湯)があった。当然、自宅にお風呂はない。何曜日にもこの銭湯に行くか楽しみでした。銭湯での最大の楽しみは、ふろ上がりの「ラムネ飲み競争」です。勝利のポイントは、ビー球を早く指で開けること。敗者のおごりとなるのでみんな必死ですよ。冬の帰り道は、濡れたタオルをくるくる回し、タオルを棒状に凍らせたら、チャンバラの開始で・・・す。そういえば・・・同級生は番台に上がっていなかったナー

4 番目は、日本銀行小樽支店

小学4年の頃、お年玉100円札を5枚もっておもちゃ屋に・・・その時、100円札全部やぶってしまい買い物ができない事態に・・・そこでおもちゃ屋の店員が、やぶれた札は使えないから「日銀にいった新札に変えてもらいなー」とアドバイスされた。いざ日銀へ出発!正面入口から入ってすぐ警備員2人に両脇を抱えられ、逮捕状態でーす。日銀は怖いところだよ。でも、来た理由を・・・と説明したら開放されました。そして、新札に交換してくれました。折り目のないお札をはじめ見て感動しました。でも、今思うとおもちゃ屋の店員さん、冗談きついナー

5番目は、小樽埠頭と小樽運河、そして小樽水族館

小学5年の時、自転車を買ってもらったので行動範囲が広がった。

休日は、朝食後、よく小樽埠頭に釣り(ちか、サバ)に行っていた。釣り帰りは、小樽運河に停泊している「はしけ」を飛び回って遊んでいた。

この時期から、もう、運河には活気がなく、働く人も少なかったような気がする。だから、「はしけ」飛びをしても怒られなかったのか。でも、よく運河に落ちなかったナー
自宅に帰る合図は、北海製缶のサイレン・・・物凄い音だったナー・・・小樽中響いてたよー

小樽水族館は、昭和33年北海道大博覧会「海の会場」として建設。翌年、小樽市水族館として開館。昭和49年 高台に新水族館完成により移転する。

私にとって祝津は、水泳を習得した場所です。小学1年生の夏休み、にしん御殿に合宿して、朝から晩までしごかれたおかげで、バリバリ泳げるようになった。

それから、海水浴は祝津と決まっていた。塩谷、蘭島、ましてやドリームビーチの砂浜で泳いでいるやわな人とは、違うぜ・・・とちょっと自信過剰になっていた。

平成15年小学2年の娘と妻の3人で、32年(小学6年以来)ぶりに小樽水族館に来た。何気なく「トドのダイビングショウ」を見ていたら、トドの飛込み場は、
小学生の頃、私が飛込みで遊んでいた場所であった。トドに飛込み場を使ってもらい嬉しくなりました。チョットした飛込み場の再利用ですね。

6番目は、買い物（市場と豆腐屋 そしてスーパーの出現）

自宅には、中学生まで「かまど」があり、まき割りが私の仕事であった。毎日、早朝ご飯を炊くので、家族みんな早起きだったよなー

小学4年頃まで、家に冷蔵庫がなかったので、朝6時からおかずの買い出しに中央市場や三角市場に行っていた。コロッケ、メンチ、揚げかまと色々あったよ。

いつも、買うときは値切り交渉をする。「5個で100円のコロッケを6個で100円に負けてもらう」その1個は食べながら帰り、家にはちゃんと5個渡していました。

近所には、豆腐屋が3軒もあった。豆腐屋に行くとき100円を渡され、「とうふ2丁、油揚げ2枚とおからを買ってきて・・・」といわれる。

私は、どの豆腐屋に行くか店の前で観察する。ポイントは、主人の機嫌がよく、混雑していること。主人の機嫌で「おからの量」が決まる。ここが私の腕前となる。

買い物に行くときは、「愛想よく。」が大切なポイントでした。そういえば、私が小樽で、はじめてスーパーマーケットを見たのは、長崎屋かなー何歳の時かなー

7番目は、旭山展望台

西陵中学校は、旭山展望台の下に学校があった。春は竹の子取り、秋はきのこ取り、冬はスキーで展望台に登り、小樽の街を眺めていた。夏は、野球部のランニングで展望台まで一気にGO！当然、学校帰りは同級生のラーメン屋に寄り道。今、そのラーメン屋は、和光食品(東証一部上場)になっています。

8番目は、大黒屋デパート（中学校の学区内に3つのデパートがあった）

一番楽しかったデパートは、大黒屋です。中学校時代、大黒屋が学区内(あまどうの向い)にあることで、あまどうの息子と2人でいつも4階の切手売場に出だし、ガラス越しに高額な切手を見つめていました！ お昼になると大黒屋最上階の食堂で、オムライスを食べます。とても、おいしいんだよナー。

ラストは、国鉄高架橋（「高架をつくったら、こんなに効果がでたなー」と市民がほめていた＝良い公共事業でした。）

幼稚園の頃、東映映画館裏を走る国鉄列車が、2階の高さを走っていて(高架になっていた)びっくりした。現在なら、鉄道と道路は立体交差が当たり前であるが、この時は何と昭和39年ですよ。この事業が、小樽の街を活性化しましたね。(車の渋滞緩和。花園町の分断解消。歩行者往来の安全性とスムーズさの実現等々)

2 小樽の現状

1) 小樽は歴史的建造物の宝庫(小樽市指定歴史的建造物)

小樽市指定歴史的建造物は、昭和60年から始まり、現在まで**85建造物**が指定されている。小樽市指定歴史的建造物とは、都市景観の保全を図るために平成4年に「**小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例**」によって指定されたものかつ、所有者の同意を得ているものである。下記に主要建造物を記す。

歴史的建造物	建築様式	評判	印象	設計
小樽運河と遊歩道、石造り倉庫群	石造り倉庫とガス燈	全般 ロマンチック	昼はレトロ調、夜は神秘的 船からの眺めがロマンチック	
日本銀行旧小樽支店金融資料館	英国ルネッサンス風石造り	全般	北のウォール街の痕跡 体験学習あり	辰野金吾(東京駅)
小樽市鯉御殿	木造鯉漁場建築物では最大級	シニア、一般観光向け	広大な畳部屋	
旧日本郵船小樽支店	英国ルネッサンス風石造り	シニア、一般観光向け	レトロ	
北海製缶第三倉庫	小樽初期のRC構造 鉄筋コンクリート造	全般	白いマチエールのような外観と 規則的な赤さびた鉄扉のコンビが魅力	
旧渋澤倉庫 現在、ライブハウス&レストラン	木骨石造1階建	全般	明治時代の象徴建築物	
田中酒造店	木造2階建	シニア、一般観光向け	昭和初期の木造建築	
旧小樽倉庫 現在、博物館、運河プラザ	木骨石造1階建 木骨煉瓦造2階建	全般	明治中期の石と煉瓦造り 屋根にしゃちほこ、中庭もある	
旧安田銀行小樽支店 現在、和食レストラン「花ごころ」	鉄筋コンクリート造2階建	全般	昭和初期の典型的銀行建築様式	
旧塚本商店 現在、Café色内食堂	木骨鉄網コンクリート造2階建	全般	防火意識が強い建築物。 黒外壁とコンクリートを使用	
旧北海道拓殖銀行小樽支店 現在、似鳥美術館	鉄筋コンクリート造4階建	全般	北のウォール街の象徴建築物	

2) 小樽運河の歴史

時期	小樽運河のあゆみ
大正12年 ～	小樽運河完成。全長1,140m、幅約40m 日本国内唯一となる海岸の沖合い埋立て方式 を採用して完成。
昭和41年 ～	小樽市都市計画において、運河を全面埋立し、6車線の道路を建設することを発表した。 小樽運河の埋立理由は、①埠頭が整備され、利用度が減少した。②港湾への交通アクセスの確保、市内の渋滞緩和。③運河内の水質悪化等
昭和48年 ～	小樽市民から運河を守る機運が高まり、この論争が全国に報道され「 小樽運河戦争→全国的市民運動 」として有名になった。
昭和61年 ～	小樽運河再計画の基、小樽運河の半分を埋立て道路を建設する。残区域は保存し、運河沿いに散策路等を整備することで決着となった。 結果、小樽運河は 小樽を代表する観光資源に再生 され、さらに、運河埋立問題が全国報道されたことで 小樽は観光地として変貌 を遂げた。

3) はざま俊哉市長と小樽のあゆみ (長崎屋出店～運河戦争～老舗デパート閉店～小樽ベイシティ民事再生法申請)

年	はざま俊哉市長と小樽のあゆみ
昭和51年	昭和46年工事着工から5年、小樽駅前地区市街地再開発事業完成(駅前第二ビルに長崎屋出店。今後、老舗デパートに影響を及ぼす。) はざま俊哉高校生。市長は志村和雄氏(昭和50年～昭和62年)
昭和57年	はざま俊哉小樽市役所に入庁。当時は、小樽運河戦争の真っただ中である。市長は志村和雄氏(昭和50年～昭和62年)
昭和59年	小樽博覧会開催。不人気で入場者伸びず大赤字。市長は志村和雄氏(昭和50年～昭和62年)
昭和60年	小樽築港駅周辺再開発が策定。市長は志村和雄氏(昭和50年～昭和62年)
昭和61年	小樽運河再整備(半分道路、半分保存)工事完了。市長は志村和雄氏(昭和50年～昭和62年)
昭和63年	ニューギンザデパート閉店する。市長は新谷昌明氏(昭和62年～平成11年)
平成元年	マリンヒルホテル小樽オープンする。市長は新谷昌明氏(昭和62年～平成11年)
平成2年	小樽マリーナ開業。経営は第三セクター「マリンウェーブ小樽」。市長は新谷昌明氏(昭和62年～平成11年)。次年、石原裕次郎記念館オープン
平成5年	大黒屋デパート閉店する。市長は新谷昌明氏(昭和62年～平成11年)
平成10年	小樽市望洋シャンツェ完成。市長は新谷昌明氏(昭和62年～平成11年)
平成11年	マイカル小樽が、小樽築港駅周辺再開発を完成(平成8年工事着工から3年)。市長は新谷昌明氏(昭和62年～平成11年)
平成15年	マイカル小樽が民事再生法を申請。その連鎖で、小樽ベイシティ開発(施設所有社)も民事再生法を申請。市長は山田勝磨(平成11年～平成23年)。はざま俊哉(平成15年企画部企画調整担当主幹)
平成16年	小樽市望洋サッカーラクビー場完成。市長は山田勝磨(平成11年～平成23年)。はざま俊哉(平成16年総務部企画政策室担当主幹)
平成17年	丸井今井デパート小樽支店撤退。市長は山田勝磨(平成11年～平成23年)。はざま俊哉(平成17年経済部産業振興課長、平成19年産業港湾部産業振興課長、平成22年総務部企画政策室長)
平成23年	市長は中松義治(平成23年～平成27年)。はざま俊哉(平成23年総務部長)
平成24年	マリンヒルホテル小樽閉鎖する。市長は中松義治(平成23年～平成27年)。はざま俊哉(平成24年総務部長)
平成28年	小樽市望洋シャンツェ廃止。市長は森井秀明(平成27年～平成30年)。はざま俊哉(平成27年教育部長、平成28年生活環境部参事。)
平成29年	小樽ベイシティ2度目の民事再生法申請。石原裕次郎記念館閉館。市長は森井秀明(平成27年～平成30年)。はざま俊哉(平成29年市役所退職)
平成30年	はざま俊哉市長誕生(平成30年から現在に至る。市役所入庁から36年。)。就任2年目よりコロナ対策に追われる日々。

4) お祭りの街小樽(住民が育ててきた祭り) 小樽では、5月から7月までの3か月間に16回のお祭りがどこかで開催しているお祭りの街である。

祭典名	日程	場所
招魂祭、不動院	5月15日、5月27日28日	小樽公園、奥沢3丁目
潮見ヶ岡神社	6月2日、3日	若竹町
張碓稲荷神社、厩神社	6月2日、3日	春香町、手宮3丁目
小樽稲荷神社	6月8日～10日	末広町
水天宮(小樽三大祭)	6月14日～16日	相生町
蘭島神社	6月16日、17日	蘭島1丁目

祭典名	日程	場所
龍宮神社(小樽三大祭)	6月20日～22日	稲穂3丁目
恵美須神社、豊足神社	6月22日～24日	祝津3丁目、銭函2丁目
熊碓神社、忍路神社	6月30日～7月1日	桜5丁目、忍路1丁目
高島稲荷、塩谷神社	7月7日、8日	高島3丁目、塩谷2丁目
住吉神社(小樽三大祭)	7月14日～16日	住之江2丁目
天満宮、朝里神社	8月24日～26日、9月1日2日	天神1丁目、新光2丁目

5) 小樽の年間イベント

今まで小樽で開催してきたイベントを下記に紹介する。

イベント名	日程	場所	内容
小樽雪あかりの路	2月上旬	小樽運河、 旧手宮線跡地他	街中のキャンドルのともしびが、小樽の古い街並みをやさしく照らす
国際スポーツ雪かき選手権 (スポーツイベント)	2月下旬	石山町、入船町他	雪が多く除雪に困っている町内で開催、住民の手助けになれば・・・
小樽創作オルゴール展	3月	小樽オルゴール堂	「ぼく、わたし～オルゴールで自分を表現しよう。」をテーマに創作した個性あるオルゴールを展示する。各賞は、来館者の投票により決定する
小樽ショートフィルムセッション 中止	3月上旬	小樽市民センター マリンセンター	小樽の実写映像を使用した10分以内の作品を提出する (毎年のテーマのもと)優秀7作品の上映と表彰をする
おたる春まつり	5月下旬	花園銀座商店街	小樽グルメが楽しめる。カラオケ大会や早食い大会など参加型観光の一つです
牡丹、芍薬まつり	5月下旬	小樽貴賓館	牡丹430株、芍薬320株の華達がお待ちしています
おたる祝津にしん群来祭り	6月上旬	祝津前浜周辺	祝津の文化・歴史を生かしたイベント。名物にしん周太郎丼、おたる群来太郎丼
おたる運河ロードレース大会 (スポーツイベント)	6月中旬	色内埠頭公園	潮風香る歴史あるロマンの街を駆け抜けるロードレース。10km、5km、2kmの3コースで競う
小樽ライトアップ 散策ガイドツアー	7月上旬から 8月下旬	毎週火曜日、 木曜日、土曜日	旧国鉄手宮線色内駅から小樽運河浅草橋までをガイドが案内する
オールディーズナイト	7月中旬	おたるマリン広場	懐かしい音楽を聴きながら、暑さを吹き飛ばせ！
マリン・フェスタIN小樽	7月中旬	小樽港マリーナほか	海の祭典、水上オートバイやクルーザー、モーターボート体験できる
ほたと森の復活祭	7月下旬	朝里クラッセホテル	ほたるの光とロウソクの灯火で演出。屋台で飲食
おたる潮まつり	7月下旬	小樽港第三号埠頭	海への感謝と小樽の発展を祈願する祭。「潮ねりこみ」「潮太鼓」「みこしパレード」「花火大会」等
小樽がらす市 中止	7月下旬	手宮線跡地	ガラス製品の展示、販売やガラスの装飾の実演・製作体験
おたる浴衣ウィーク	7月下旬	都通り商店街ほか	浴衣を着て小樽を楽しむ。浴衣姿で商店街にお越しの方には特典あり
真夏の中庭音楽祭	8月上旬	運河プラザ中庭	オールディーズナイトによる演奏と飲食

イベント名	日程	場所	内容
堺町ゆかた風鈴まつり	8月上旬	堺町通り他	ガラスの風鈴が堺町通りを飾り、浴衣姿で堺町通りや北運河の店を訪ねると特典あり
高島漁港納涼大花火大会	8月中旬	高島漁港	1時間にわたって、4,000発花火が連続で打ち上る
「北前船」日本遺産の石造倉庫めぐり	8月中旬	運河プラザ	2018年開催。日本遺産に認定された北前船の遺構を巡るガイドツアー
おぼん万灯会	8月中旬	運河公園	小樽典礼が主催・運営 運河に万灯を流し、感謝の気持ちをもって見送る
ニトリレディスゴルフ トーナメント(スポーツイ観戦)	8月下旬	小樽カントリー倶楽部	女子プロトーナメント
真夏の北運河 サウンドエナジー	8月下旬	運河公園	アマチュアバンド競演イベント
天狗山夜景の日 中止	8月下旬	天狗山	北海道三大夜景の1つである天狗山からの夜景を楽しむイベント 北海道三大夜景(函館、札幌、小樽)日本三大夜景(函館、神戸、長崎)
小樽天狗山まつり 中止	8月下旬	天狗山山頂	山頂にある天狗山神社の例大祭
小樽アニメパーティー	9月上旬	ニュー三幸	アニメキャラのコスプレヤーが街に繰り出し撮影会などを行う
おたる祝津花火大会 中止	9月上旬	祝津前浜	歴史と観光の街祝津の発展を願う花火大会 1,500発
北の収穫祭ワインカーニバル	9月上旬	北海道ワイン	ワインのメインとした秋の収穫祭。バーベキュー、ゲーム、抽選会ほか
小樽クラシックカー博覧会	9月上旬	小樽市総合博物館	全国からクラシックカーが大集合
キャンアートフェスティバル	9月下旬	運河プラザ	空き缶を使用したオブジェの展示
ベネツィアン モダンアートガラス展	9月上旬から 12月上旬	北一ベネツィア美術館	「硝子の街小樽」を代表するガラス作家が集合。制作されたアートな作品を展示
音座なまらいぶ小樽	9月下旬	小樽市内各地	市内の飲食店がライブハウスに変身
小樽しゃこ祭 中止	11月上旬	小樽マリン広場	冬の小樽の海産物が楽しめる
小樽雪物語 余市雪物語	11月1日から 1月31日	小樽運河	小樽運河の冬を彩るイベント(青でイルミネーション)

6) 小樽ふれあい観光大使44名

平成18年から実施。「歴史と文化、豊かな自然が織りなす、ふれあい都市小樽。」を目指し、小樽の知名度アップと観光入込客増大を図ることを目的としている。さらに小樽を愛する様々な方を小樽ふれあい観光大使として任命している。

氏名	現在の役職	略歴
香山 リカ	立教大学教授	精神科医
川上 麻衣子	(株)MAJKOK代表取締役	女優
清水 孝宏	清水音楽事務所 代表	ミュージシャン
篠原 宣義	ミュージシャン	
鶴岡 雅義	日本音楽著作権家連合 顧問	歌手
川口 直木	(株)京都デザイン研究所 代表取締役	プロデュース
本保 芳明	東京都立大学客員教授	運輸省、国土交通省
伊藤 滋	早稲田大学 特命教授	東京大学名誉教授
沈 潔如		
似鳥 昭雄	(株)ニトリHD 代表取締役会長	
浅原 千代治	ガラス造形家	大阪芸術大学 講師
上野 淑子	(有)栄神企画 代表取締役	小樽潮陵高校
あがた 森魚	シンガーソングライター	
池田 充男	作詞家	
柿本 七恵	シンガーソングライター	
木原 昌良	北海道観光振興機構 常任理事	
三浦 陽子	アイファミリー歯科クリニック 院長	岩手医大歯学部
山本 英幸	(株)サウンドクルー小樽 代表取締役	
弦 哲也	(公社)日本作曲家協会 会長	作曲家
上野 正彦	岡崎信用金庫副理事長	元日本銀行札幌支店長
小玉 宏文	JR北海道バス(株) 相談役	元小樽駅長
千石 涼太郎	作家	北海道Uターン作家
手嶋 肇	(株)タクマ 名誉顧問	(株)タクマ 社長

氏名	現在の役職	略歴
蜂谷 涼	作家・コメンテーター	北海道を中心に活動
山本 眞樹夫		小樽商科大学 学長
阿部 眞久	ワインクラスター北海道代表理事	ソムリエ
坂口 聡	(財)札幌交響楽団	
斎藤 慎二	東京小樽会副会長	
今井 信子	ビオラ奏者	
小林 英夫	ダンス運動塾 塾長	ナホトカ名誉市民
高田 恭介	矢作建設工業(株) 特別顧問	元日本銀行札幌支店長
山内 進	一橋大学名誉教授	元一橋大学 学長
飯塚 修	東洋水産	東洋水産(株)取締役
田島 ハル	漫画家	
新倉 吉晴	(株)新倉屋 代表取締役社長	
道伝 はるか	作家、ライター	
中村 考志	(株)小樽政寿司 代表取締役	
加藤 浩次	タレント	タレント
妻倉 和子	劇団前進座 女優	
義貴	歌手(歌謡、民謡)	
成田 芳生	東京小樽会会長	
平間 さと子	ピアニスト、小樽雪あかりの路PR大使	
林家とんでん平	落語家	小樽を題材にした落語
山下 智博	株式会社ぬるぬるCCO	小樽の魅力を 中国向けに発信

7) 小樽港利用のクルーズ客船(2022年の実績)

主に商船三井旅客株式会社が所有する「にっぽん丸」が、小樽港を拠点に下記のクルーズ日程を実施している。

クルーズ日程	クローズ船	クローズ経路	備考
7月9日から7月9日	ぱしふいっくびいなす 2万6千トン	稚内→→小樽→→函館	小樽入港7:30 小樽出港19:00
7月29日から7月29日 中止	飛鳥Ⅱ 5万トン	網走→→小樽→→函館	小樽入港14:00 小樽出港20:00
8月24日から8月25日	にっぽん丸 2万2千トン	函館→→小樽→→利尻	小樽入港11:30 小樽出港19:00
8月28日から8月28日	にっぽん丸 2万2千トン	羅臼→→小樽→→利尻	小樽入港7:30 小樽出港19:00
8月31日から8月31日	にっぽん丸 2万2千トン	羅臼→→小樽→→利尻	小樽入港14:00 小樽出港20:00
9月3日から9月3日	にっぽん丸 2万2千トン	羅臼→→小樽→→利尻	小樽入港11:30 小樽出港19:00

小樽港に寄港したクルーズ船 (小樽市HPより)

「小樽クルーズ客船歓迎クラブ」による
クルーズ船入出港時の歓迎式典のようす
(小樽市HPより)



飛鳥Ⅱ



にっぽん丸



ジャンクルーズライン



ぱしふいっくびいなす



コスタ セレーナ



ダイヤモンド プリンセス



8) 小樽駅前の現状は（写真は街画コムより）

1. 混雑する横断歩道 (駅前第2ビル前、国道5号線横断歩道)



駅前第2ビル前、国道5号線の横断歩道は、大勢の歩行者が往来する。横断する歩行者が多いため、人が途切れず、小樽駅から右折する車が横断歩道前で何台も停止し、渋滞を起こしている。

2. 混雑する横断歩道 (小樽駅から国道5号線までのバスターミナル横断歩道)



小樽駅から国道5号線までの通路は、バスターミナルを横断するため、横断歩道がある。大勢の歩行者が通行するため、歩道幅からあふれ出して通行している。

3. バスターミナル出口の信号機で渋滞するバス



バスは、必ず横断歩道を通って出発する。そのため、赤信号で停止時間が長くなると、バスターミナル内で渋滞を起こす。

4. 駅前に乱雑に停車する一般車 急がれる駅前の段差解消



小樽駅前には、3段の階段があり、バリアフリーに対応していない。そのため、タクシー乗場までスロープを設置している。また、一般車が乱雑に停車しており、事故の原因となっている。

9) 小樽市の公園を紹介

小樽市には、街区公園71ヶ所、近隣公園11ヶ所、地区公園6ヶ所、総合公園3ヶ所と港湾室が管理している3ヶ所を含め、合計96ヶ所の公園がある。その内、地区公園と総合公園及び港湾室で管理している公園について施設概要を紹介する。

種別	名称	住所	面積	施設概要
地区公園	からまつ公園	最上2丁目	3.3 ha	芝生のサッカー場、ラグビー場が各1面。テニスコート6面。幼児用遊具広場。冬の歩くスキーコース。
	朝里川公園	新光1丁目	5.3 ha	左岸に遊戯広場(滑り台、リングネット、砂場、ストリートバスケット等充実)。テニスコート2面。少年野球場(ソフトボール兼用)。右岸に健康器具。休息広場。グラウンド。
	平磯公園	若竹町	5.6 ha	小樽港マリーナーを見渡せる展望地。遊戯広場(ブランコ、砂場、雲梯、回転ジャングルジム)。水飲み場。野球場
	入船公園	入船5丁目	3.4 ha	遊戯広場(鉄棒、ブランコ、コンビ遊具、滑り台、回転ジャングルジム、プチボルタリング、スプリング遊具等)。テニスコート(オムニコート)。野球場(ナイター設備あり)。健康遊具。自由広場。
	色内埠頭公園	色内3丁目	3.7 ha	遊戯広場(大型コンビ遊具を設置)。野球場。ソフトボール場。サッカー場。
	銭函中央公園	銭函3丁目	2.5 ha	遊戯広場(大型コンビ遊具、ブランコ、鉄棒、スプリング遊具、ターザンロープ等)。グラウンド。
総合公園	小樽公園 (桜が丘球場、総合体育館)	花園5丁目	23.5 ha	公園内には、天然林(クリ、ナラ、センなど4000本)と桜(多くの品種)約650本、ツツジ約7000本、シラカバ約1500本が植樹され、緑と花の公園として親しまれている。また、園内には、総合体育館、野球場、公民館、市民会館、グラウンドなどの施設と幼児広場「こどもの国」がある。
	手宮公園 (3種陸上競技場)	手宮1丁目	19.7 ha	北限と言われる230本のクリの自然林がある。春の桜、ツツジ、秋のクリ拾い等、散歩やハイキングの場として利用されている。手宮緑化植物園は、公園の東側、小樽港を一望できる丘にある。園内には、日本庭園、桜園、水生植物園、シャクナゲ園、ボタン園など15区の見本園が季節毎に楽しめる。
	長橋なえぼ公園(自然生態観察公園)	幸1丁目	31.1 ha	野鳥や小動物などを観察できる自然生態観察公園として整備。早春にはミズバショウやザゼンソウなどが咲き、春は約3000本の桜の名所として、秋は紅葉の憩いの場として市民に利用されている。園内にある森の自然館には、学習室や図書コーナー、工作室、展示室を備え園内情報の場となっている。
港湾室管理公園	築港臨海公園	築港4	1.4 ha	潮の香りを感じ、落ち着いた雰囲気のある公園。幼児用遊具がありファミリー層に人気がある
	運河公園	色内3丁目	0.8 ha	小樽の歴史や文化を感じる公園、石造倉庫を再利用した遊具棟、休息棟
	かつない臨海公園	築港7	0.8 ha	小樽港の眺望(フェリーの往来)が最高の公園

小樽市の総合公園は、自然に満ち、植物、野鳥、小動物が多く観察でき、学習に役立つ公園である。気になるのは、桜の木の植栽が多いことかな。

でも、他の街にはない自然の宝である。その半面、幼児用施設やスポーツ施設の充実度が低い傾向にある。また、街区公園の遊具改修計画をみると大型コンビ遊具や複合遊具を設置することで、充実度を図っている点が気になる。親子が一緒に楽しめる遊具も大切と思うが・・・

現在、小樽駅前を中心とする稲穂1丁目から4丁目までの市街地(約60ha)には、ひまわり公園(街区公園約0.6ha)の1ヶ所しかない。これは、都市計画法施行前の小樽は、地主が建物用地の目的以外に活用しなかった結果である。唯一この公園は、鉄道手宮線の跡地に隣接していることで、多くの利用者があるようだ。

10) 小樽市赤岩ロックゲレンデ（小樽はロッククライミングのふるさと）

小樽市赤岩は、北海道はもちろん国内においても最も古く岩登りが行われたゲレンデである。現在、フリークライミングの対象エリアは、5、6か所でルートは70本程度である。また、シングルピッチ、マルチピッチの両方が楽しめるゲレンデである。

クライミングが東京オリンピックで人気となり、難度と楽しさで広がりを見せている

小樽市は古くからロッククライミングの街、小樽市民が応援するスポーツにしたい！

そして、小樽からオリンピック選手を輩出しよう！



小樽市赤岩ロックゲレンデをシングルピッチで登る
(ヤフー画像より)

2018年7月ウイングベイ小樽に高さ8mのクライミング壁が登場、合わせて高さ3.6m120°前傾壁とキッズコーナーの3施設がベイサイドクリフ浜壁の名称でオープンした。

2021年東京オリンピック種目となることから、人気と注目度が高く、体験施設として利用客を集めていく方針である。

料金は、1日1,800円で、1か月1,400名の利用客を見込んでいる。



ウイングベイ小樽に高さ8mと高さ3.6m120°前傾壁のクライミング施設登場
(ヤフー画像より)

スケートボードの広がりを見越して(神奈川県藤沢市が積極的に施設を提供している・・・PFI制度活用で更なる飛躍へ)



藤沢市鵜沼海浜公園スケートパーク
(藤沢市HPより、写真はヤフー画像より)

神奈川県藤沢市は、鵜沼海浜公園スケートパーク内にスケートボード、BMX、インラインスケートといったXスポーツを気軽に親しむことができる施設を提供している。

2016年、利用者2万人、2017年、利用者3万人を受けて、2018年11月に国際規格のスケートボード場を(大きさ1,100m²、工事費3,000万円)完成させ、利用を開始した。

その後、2021年東京オリンピック種目となってから、利用者が急増し、駐車場を含めた既設施設の老朽化により、撤去や改修を余儀なくされている。そこで、この公園はXスポーツ施設の利用者が多いことで、他の公園とは違い民間事業者の創意工夫が必要であり、更なる魅力ある施設の向上と利便性の向上を図るため、公募設置管理制度(Park PFI制度)を活用することとなった。

2021年11月PFI業者が決定し、2023年秋より全面改修工事を行い新たなスケートパークに生まれ変わる予定である。

11) 小樽市と近郊都市及び「住みたい都市」との比較

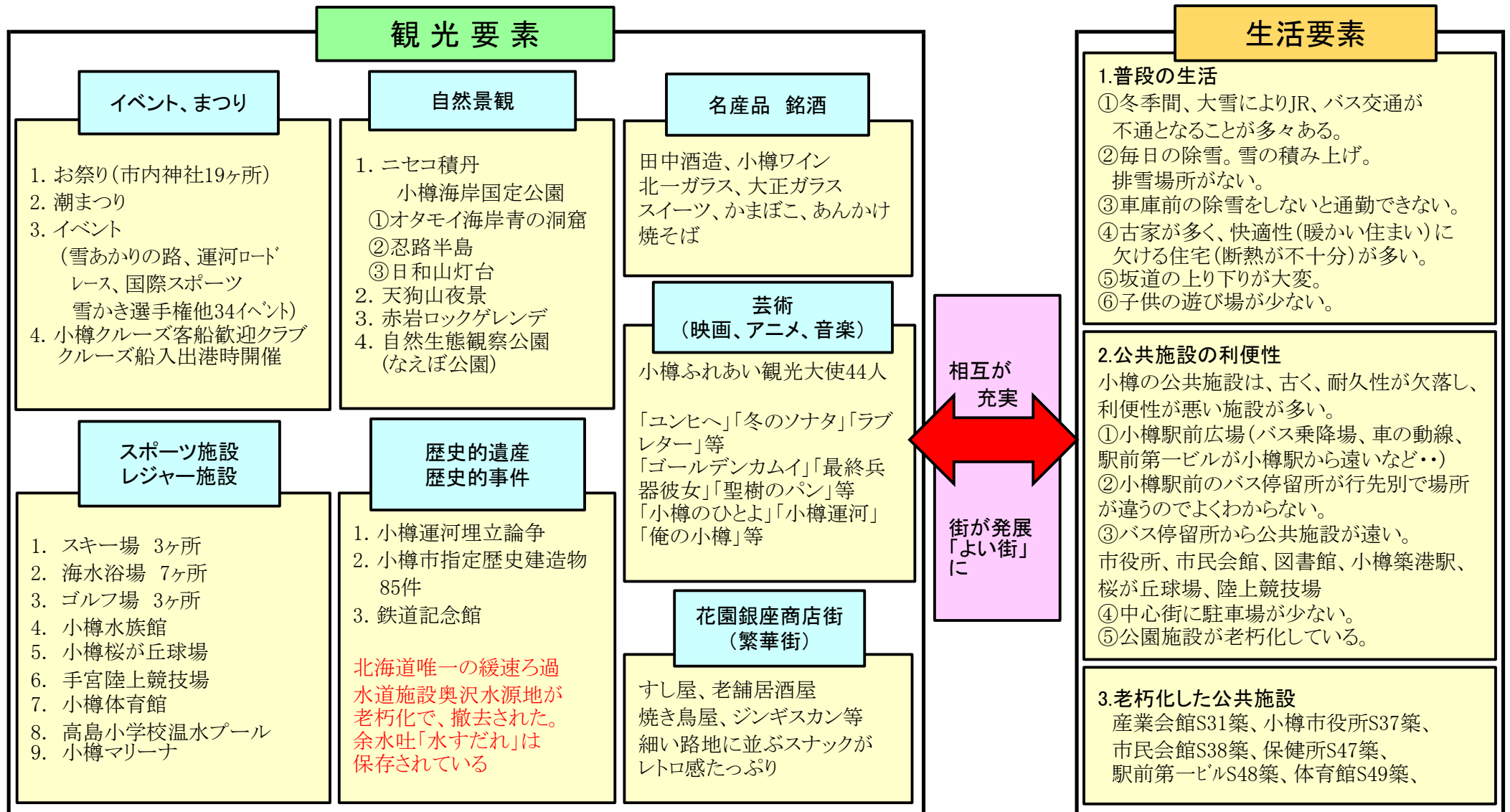
「住みよい街」とは、何が条件なのか？ 自営業者(38歳、独身、年収400万円)が、1か月に掛かる主な生活費を都市別に単純比較してみた。

下記の夕張市は、**人口減少により上下水道料金が高騰**した都市である。理由は？ 上下水道の維持管理費は、使用する世帯が分担して納めているため、世帯数が減少すると1世帯当たりの上下水道料金の負担が増え、値上げとなる。 また、現在、小樽は国民健康保険料が道内でも高額納付の街である。

項目 都市名	水道料金(10m ³ まで) 1ヵ月分	下水道料金(10m ³ まで) 1ヵ月分	国民年金保険 1ヵ月 第一号被保険者	国民健康保険 1ヵ月 38才独身年収400万	電気代 30A300kwh 1ヵ月	合計 税込
江別市	1,562 円	1,133 円	16,590 円	24,475 円	9,423 円 北海道電力	53,183 円
北広島市	2,475 円	1,100 円	16,590 円	25,250 円	9,423 円 北海道電力	54,838 円
千歳市	1,326 円	876 円	16,590 円	26,650 円	9,423 円 北海道電力	54,865 円
札幌市	1,452 円	660 円	16,590 円	27,659 円	9,423 円 北海道電力	55,784 円
旭川市	1,672 円	1,560 円	16,590 円	27,233 円	9,423 円 北海道電力	56,478 円
小樽市	1,270 円	1,220 円	16,590 円	28,675 円	9,423 円 北海道電力	57,178 円
夕張市	3,421 円	1,833 円	16,590 円	27,802 円	9,423 円 北海道電力	59,069 円
函館市	1,199 円	1,507 円	16,590 円	31,333 円	9,423 円 北海道電力	60,052 円
鎌倉市	1,223 円	1,086 円	16,590 円	21,362 円	8,010 円 東京電力	48,271 円
飛騨高山市	1,188 円	1,430 円	16,590 円	21,325 円	7,983 円 中部電力	48,516 円
横浜市	1,070 円	737 円	16,590 円	22,780 円	8,010 円 東京電力	49,187 円
京都市	1,067 円	770 円	16,590 円	25,123 円	7,118 円 関西電力	50,668 円
福岡市	1,650 円	1,077 円	16,590 円	24,226 円	7,137 円 九州電力	50,680 円
神戸市	968 円	660 円	16,590 円	28,473 円	7,118 円 関西電力	53,809 円

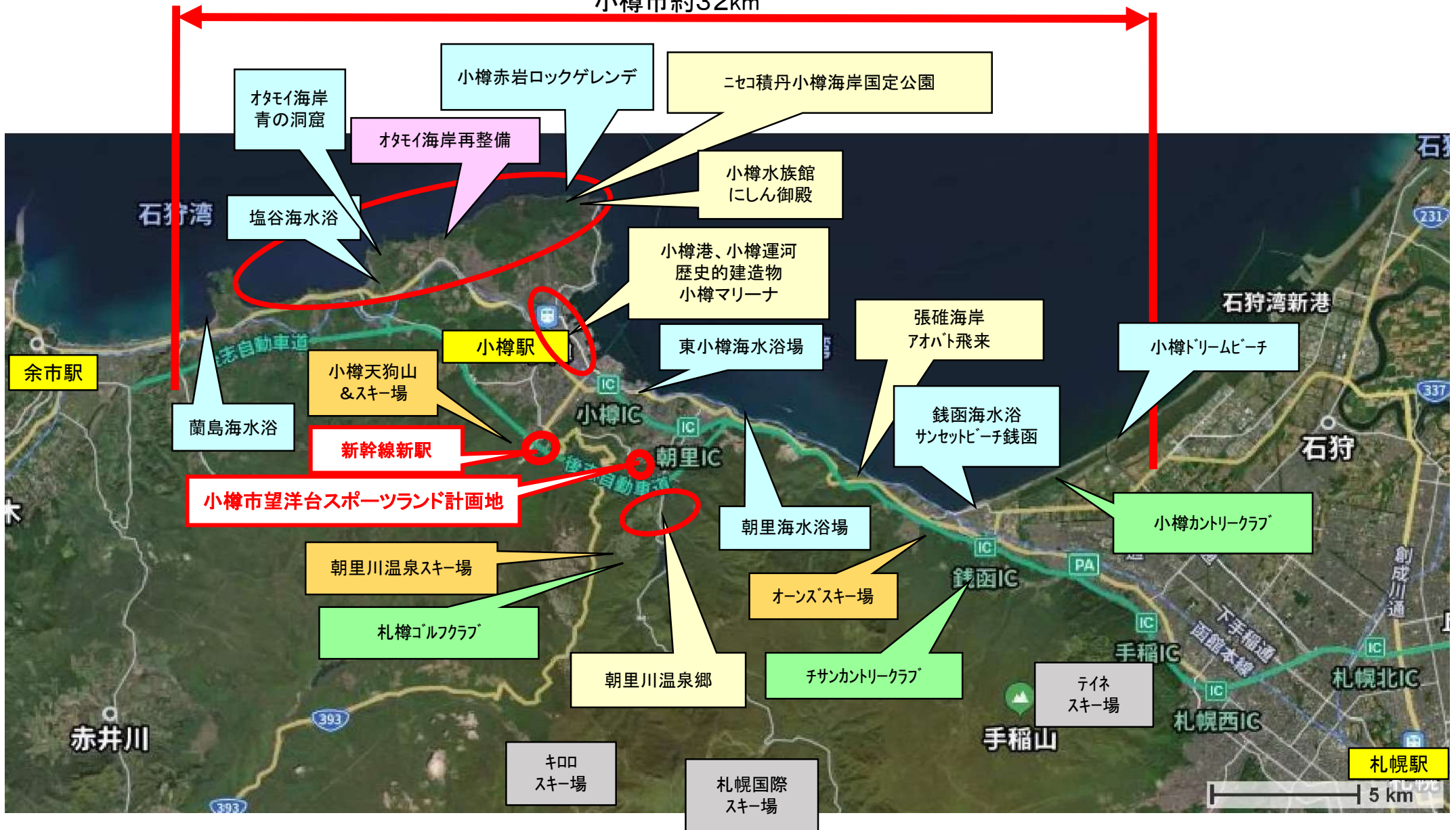
3 小樽の現状まとめ

「住んでよし、訪ねてよし」の街を目指すために、小樽市の現状を「住んでよし」を生活要素、「訪ねてよし」を観光要素として、下記の図に記入してみた。結果、小樽市は、生活要素に不可欠な「利便性、快適性に欠ける」部分が多く、観光要素である「美しい自然や歴史的建造物等」の観光資源が豊富な街である。よって、これからの小樽の街づくりは、「**住んでよし＝住みよい街**」だと小樽市民が全国に自慢できる「**街の改善、改修、改良**」を推し進めることが重要である。



小樽市観光施設マップ (赤文字は将来施設)

小樽市約32km



(ヤフー地図より)

4 「小樽らしさ」・・・とは何

小樽の観光案内ページを見ると、よく見る言葉で、何気なく使われている言葉に「小樽らしさ」・・・がある。その意味は・・・

ネット上で検索すると

- ① 「大正、昭和時代の石造建造物が建ち並ぶ風景＝レトロ調」を指すような・・・
- ② 「小樽運河の景観、夜のガス灯の雰囲気＝ノスタルジック」を指すような・・・
- ② ホテルの客室を「小樽らしさを感じる部屋」と紹介している・・・ これは、ピンとこないですね

小樽市ホームページでは、「小樽らしさ」は、「デザインコンセプトの関連キーワード&イメージ」と説明している。

「小樽らしさ」 ←← 「小樽らしい要素 = 現在、小樽の街にある要素」

「小樽らしい要素」を小樽市は、4項目に分け、細目に具体的な建造物、固有名詞等を提示し、それを要素としている。(下記の表にまとめる。)

項目	細目	備考
① 街並み	小樽運河、銀行建築物、石造倉庫、石、石畳、海、港、坂	大正時代、昭和時代を表す
② 灯り	ガス灯、ろうそく、ランプ	大正時代、昭和時代を表す
③ 歴史・文化	炭鉄港、北前船、漁港、にしん、すし、ガラス、浮き球、ステンドグラス	大正時代、昭和時代を表す
④ 自然	奥沢水源地、穴滝、天狗山、新小樽駅周辺	新小樽駅は、現在存在していない。これから整備する新小樽駅周辺を協議検討する際に表現した「小樽らしさ」は、どの要素(どの固有名詞を指すのか)かが、わかるように小樽市がまとめたものらしい

「小樽らしさ」に人柄はないのか！ 第一章で述べたように、昭和40年代の小樽の人はみんな「器量が良く、威勢が良く、きっぷが良く、陽気で、やさしい。」

そして「しょうがねえーヤローだなー！」で大方、許し合える間柄 だったね

これから「住みよい街小樽」をつくるためには、この「小樽らしさ」の要素を広げていくべきだ！

小樽が繁栄していた大正・昭和時代に築いた建築物や土木構造物は、当時の最高技術(先端技術)で建設したものである。この最高技術の建造物が、何十年も経つと観光遺産となる歴史的建造物に変貌してきた。昭和58年運河埋立問題が勃発したことで、小樽市民は小樽運河と石造倉庫群が歴史的建造物であることをはじめて知った人が多かったのではないかと。

これからの街づくりは、その時代に沿った整備計画(その時代の最高技術を取り入れ、コストダウンと容易で安価な維持管理の施設)とすることが大切である。

しかし、唯一怠ってはいけない検討事項は、利便性である。利便性が良い施設は、街が活性化する最大の要素であることを忘れてはいけない。

今の「小樽らしさ」を生んでいる建造物(上記表の項目では、街並み)は、保存及び再利用に務める。

しかし、新たに建設する建造物は、その時代に適合した建造物であり、かつ特徴をもった建造物とし、将来の「小樽らしさ」を生み出す要素としていきたい。